

よりよい藤城教育のために ～令和3年度 後期学校評価～

厳しい寒さも少しずつやわらぎ、やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。今年度も残り少なくなり、子ども達は卒業・進級に向けて、1年間のまとめを頑張っています。

さて、12月には教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。後期学校評価ではアンケートの結果とともに1年間の教育活動について振り返り、分析・考察を行いました。

本紙面では、評価項目からいくつか取り上げ、前期との比較を含めた今年度の取組についての分析・考察、また今後の課題や改善点について報告いたします。

裏面には保護者アンケートの結果と自由記述欄のご意見を一部抜粋して掲載しております。この後期評価を来年度のよりよい藤城教育へとつなげてまいります。



確かな学力

今年度は研究主題を『互いに学び合う協同的な授業と情報活用能力を基にした生きる力の育成』、サブテーマを「国語科指導を通じた主体的な対話力の育成を目指して」として取り組んできました。

前期の「学校評価報告特集号」にも書かせていただいた様に、今年度は特に対話力の育成のための取組を全校挙げて取り組んできました。

その成果として、児童アンケートの「相手を見て話を聞いていますか」の項目では前期 89%だったのが 93%に「思ったことや考えたことを話せますか」の項目では 71%から 73%に児童の回答が上昇しています。

また、協働学習の指標である「友だちと協力したり話し合ったりして学習することは好きですか」の項目では、9割以上の児童が好きと回答しています。少しずつではありますが、研究の成果が実を結びつつあるようです。



「勉強はよくわかりますか」「調べたり考えたりして学習することは好きですか」「宿題は自分からしていますか」の項目では9割前後の児童が「わかる・好き」と回答しています。しかし、「学校以外でどれだけ勉強をしていますか」の項目では1時間以上していると答えた子は56%「家でしゅくだい以外に学習していますか」の項目では「する」と答えた子は64%と、与えられた課題には意欲的に取り組むが、自分から課題を見つけて学習に取り組む姿勢は育ち切れていないのではないかと考えられます。4年生以上で取り組んでいる「自主学習」が真の意味での自主的・自発的に学習に発展していくようにご家庭でもお声かけ頂けると助かります。

豊かな心

本校では、人権教育や道徳教育、たてわりグループでの活動など日々の教育活動を通して豊かな心を育むように取り組んできました。今年度も「ハートフルウィーク」を月に1回設け、人権について考える時間をもち、全校の取組を人権掲示板にて交流しました。後期の児童アンケートでは「相手の気持ちを考えて行動する」「人が困っていたら助けてあげる」「学校のきまりをまもっている」の項目では約9割の児童ができると回答しています。共によりよく生きるためには、すべての子どもが相手のよさを見付けようと努め、互いに協力し合い、共通して守るべきものはしっかりと身に付けていくことが大切です。

近年課題であった「自分から進んで挨拶をしていますか」の項目も児童アンケートと地域アンケートでは「はい」の回答が増え、朝は「おはよう」の声がよく聞こえるようになってきました。

家庭・地域と協働して取り組み、豊かな心の子ども達を育てていきたいと思っております。

健やかな体

「早寝・早起き・朝ご飯」はとても大切な要素であり、子ども達の健やかな体を育むためには欠かすことのできないものです。

後期アンケートの結果、朝食を食べる習慣は、とてもよく定着しています(95%)。しかし、起床時刻と就寝時刻は今年度も前期から比べて遅くなっています。睡眠は前日の疲れを取り、次の日の活力を生み出すものです。しっかりと睡眠がとれていることが、前述の「確かな学力」「豊かな心」を育むはじめの一歩と考えます。

この機会にぜひ生活リズムを見直して、改善できるところがあれば、少しずつでも取り組んでいただければありがたいです。



新型コロナウイルスが猛威を振るい、藤城小学校でも学級閉鎖が度重なる現状です。幸い罹患した子ども達も軽い症状の子が多く、基礎体力が充実している故かと考えております。毎日の健康観察・手洗い・密を避けるなどの感染対策をしっかりと、子ども達の基礎体力を向上させる取組を来年度も引き続き進めていきたいと考えております。

地域のなかで育つ子ども

今年度は学校教育目標「思いやりの心をもって、生き生きと活動する子」の実現に向けて、「社会に開かれた学校づくり 学校運営協議会を核とした地域との協働」をめざしてきました。藤城小学校では情報活用の実践力を向上させるために、生活科・総合的な学習の時間を中心としたプロジェクト型学習(児童の主体的な問題解決型学習)を進めています。今年度は新型コロナ感染予防対策として、ほとんどの取組が中止されましたが、「総合防災訓練」は「伏見区総合防災訓練」として実施しました。その中で、子ども達はスタッフとして参加し、地域・保護者の方と一緒に訓練を受けたり、がんばったりする姿が見られました。

1年生の「昔の遊び」もゲストティーチャーを地域の「実年会」から派遣していただき、お手玉・コマ回し・ビー玉・羽子板・・・等の遊び方を教えて頂くことが出来ました。



例年なら「藤城夏まつり」「学区民体育祭」「オータムフェスタ」「もちつき大会」「昔の道具」等にも地域の方たちとのかかわりを持ちながら取り組んできました。コロナ感染の収束が見られれば今後も、生活科・総合的な学習の時間などとリンクし、地域に見守られるだけでなく、子ども達自身から地域に関わり、藤城の次代を担う子ども達を育てていく取組をさらに進めていきたいと思っております。